

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 550 号	氏名	稲富 千亜紀
学位審査委員	主 査 伊藤 敬 副 査 丹羽 正美 副 査 下川 功		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、酸化還元状態による細胞のアポトーシスに、グルタレドキシニン 1 (GRX1) 及びグリセルアルデヒド-3-リン酸デヒドロゲナーゼ (GAPDH) が作用するメカニズムを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラット培養心筋芽細胞H9c2細胞を用いて、NOストレス下での細胞のアポトーシスに関与すると報告されているGAPDHの酸化状態と細胞内局在を観察し、GRX1が細胞のアポトーシスとGAPDHの酸化修飾と細胞内局在に与える影響を解析できるようにデザインしたもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、細胞の酸化還元状態を定常的に調節する酵素であるGRX1の過剰発現は、心筋細胞をNOによるアポトーシスから保護することを証明した。この効果はGRX1が酸化ストレスからGAPDHを保護し、核移行を抑制する結果である可能性が示唆された。これらの結果は、酸化ストレス関連疾患の予防と治療へ貢献が大きく、今後の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は酸化ストレス研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			